



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

2021.9-10

No.448

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 初めての羽標本作り「ヒヨドリ編」

中西 悠人(東松山市 中3)

## ● はじめに

今年の1月、市内の駐車場で車のガラスに衝突死したと思われるヒヨドリを拾った。ほぼ無傷でまるで眠っているような(死後硬直もしておらず)温もりが感じられるような気すらして、はじめは気絶かと思った。それが僕の羽標本第1号となった。

帰宅して、羽標本についてインターネットでいくつかの画像を見つけることが出来た。しかし「羽標本の作り方」というようなマニュアルはなく、食用の羽むしりについての情報を見つけたので、それを少し参考にしながら、自己流の羽標本作りに挑戦した。

作成にあたり、何度もアドバイスいただいたのは、当会 HP「私の羽日記」や Online 埼玉野鳥フォーラムで羽の講師をされている近藤龍哉さんです。僕はわからないことがあるたびに近藤さんに相談して、この羽標本を完成させることができた(右ページの写真)。

## ● 作業の流れと気になったこと

### ① 測る & とにかく撮る、メモを取る

色々な角度から写真とビデオを撮る。作業しながら後で何度も見返したので、とにかく撮っておいて正解だったと思った。羽を抜いた後では確認できないこともあったし、撮った際にメジャーを当てたのは、後から見てもわかりやすかった。



### ② 羽を洗う

ぬるま湯にドライマーク衣料も洗える洗剤を少量入れ、羽を丁寧に優しく1枚1枚洗う(羽をよく見るために白い洗面器を使用)。

全ての羽のカウントをするつもりだったので、1枚も抜け落ちないように丁寧に扱った。水を流す際にストッキングタイプのきめの細かいネットを排水溝にかけて、羽が流れてしまうことを注意したが、洗う際には羽は1枚も抜けなかった。

驚いたことに、想像以上に埃や塵のようなゴミが出た。それも確認できたので白い洗面器にしてよかった。数回水をかえて、よくすすいで次の段階へ。

### ③ 羽を抜く

「温度が低くても抜けにくく、熱すぎると羽と一緒に皮もむけてしまったり、たんぱく質が凝固して羽がむしりにくくなったりしてしまう」というインターネットの情報をもとに、お湯は60℃に設定。

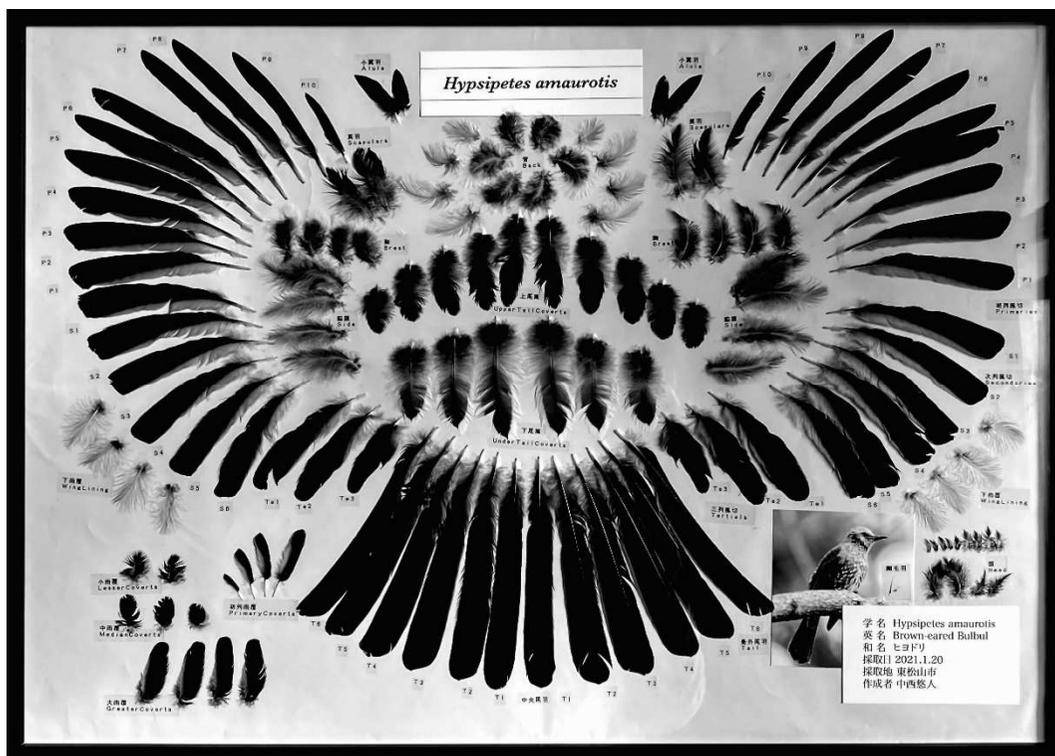
洗面器にお湯をはり、風切羽や尾羽等のしっかりした正羽を残して(作業中の目印になる)、半綿羽、綿羽から抜いていく。

抜いた羽をパーツごとに入れる箱をたくさん用意し、底にはキッチンペーパーを敷いた。抜いていくうちに、一瞬「アレっ？」とわからなくなってしまうことがあったので、この準備は正解だった。

体羽は簡単に抜けるので、10枚くらいをまとめて指でつまんで一度に抜く。抜いたら、抜いたままの位置で置いて、そのままファイリングし、並べてそのままの模様を見る。

小さくて指でつまめない粉綿羽と剛毛羽、糸状羽を残して正羽を順に抜く。

骨と肉をしっかり押さえ羽軸根を持ち、引き抜く。髪の毛を抜くような感覚で、キュッと引っ張ると抜ける。丁寧に1枚1枚抜き、順番を間違えないように気をつけて置く。置きながらメンディングテープで止めていく。



作業中はビニール手袋をしていたので、羽と手袋が静電気で吸い付いてしまい、たびたび苦労した。

抜ける羽が全て抜けたら、小さな羽を残して体は自然乾燥。羽が乾いた後に小さな羽はピンセットで抜き、OPP袋に入れる(小さな羽は2mm前後のものもある為)。

羽を抜く作業は休みなしで3時間。

#### ④ 羽を乾かす

キッチンペーパーやタオルの上に置いて、水気の取れた風切羽、尾羽をドライヤーで1枚1枚乾かす。ドライヤーで半乾きの状態まで乾かすとバラバラになった羽弁を指で整えやすい。鳥の気持ちで羽繕いし、羽弁は1枚の板の様に元通りにくっついた。自然乾燥のままでは、羽に変な形に癖がついてしまう。形が整ったらしっかり自然乾燥させる。

#### ⑤ 整理

いよいよ標本にする羽を選ぶ。抜いて乾かした羽は全てファイリングする。小さな羽はまとめて数十枚。数えられる大きさの羽根はサイズごとにOPP袋に入れて名刺用ファイルにファイリング(前ページ左下写真)。

その際、エアコンの風と静電気の起こりに

くい衣類、マスクをしてピンセットで作業をした。これらは近藤さんのアドバイス。

#### ⑥ 羽標本を作る

何度も全体の形や細かい配置をやり直す。僕が目指していたのは大空を羽ばたくようなカッコいい標本だ。図鑑のような正確さより、見て楽しい標本にしたいと思った。

方眼紙に羽をメンディングテープで仮止めし、タイトルやデータ、羽の記号などを記した。そして空の色のような水色の模造紙に最終的に貼り直して標本を完成させた。

#### ● 僕がぶつかった問題について

『原寸大写真図鑑羽』2004を見ながら羽を並べていたら、3列風切が両側1枚足りないことに気付いた。失くしたはずはないと全て見直して探したが見つからなかった。インターネットで調べてみると、ヒヨドリの初列風切は10枚だという記事があった。

もしかしたら、図鑑が間違っているのではないかと考えた。三列風切の1番(Te1)が、次列の羽と形がそっくりなので、次列の6番(S6)としてしまい、1番ずつずれて初列を11枚としていたのではないか。それに気付くまでよかったと思う。P1はS1、S6がTe1という

ことがハッキリして、無事に僕のヒヨドリは初列風切が10枚で標本に収まった。

### ● 羽のカウントについて

標本に使わなかった羽のファイリングを終えた後、剛毛羽と糸状羽を抜いていなかったことを悔いて、埋葬したヒヨドリを掘り起こした。ガーゼに包みその上から新聞紙に包んで埋めたこととあわせて、1月の寒さのおかげで作業は問題なく続けることができた。総羽数をきちんと調べるには完璧でなければいけない。約〇〇枚では誰にでもできるのだ、だから掘り起こしてよかったと思う。

剛毛羽と糸状羽はお湯の中では見えなくなってしまうことが取り残しの原因だった。細かい羽は濡れていない状態で抜くのが良い。クチバシ周りの羽は2mm前後なので極細ピンセットと精密な毛抜きが役に立つ。全ての羽という羽を抜き終えた。

尾羽のようにわかりやすい羽のカウントは順調に進んだが、綿羽と後羽の判定に時間がかかった。スマホ顕微鏡を使って羽軸のあるなしを確かめ、ないものは後羽のちぎれたものとしてカウントせず、あるものだけを綿羽としてカウントしたからだ。後羽がとれて、数多く別々になってしまったので今後は注意したい点である。

半綿羽の中には換羽中の羽鞘が長いものがけっこうあった。

顔周りはmm単位の羽ばかりで、カウントは慎重に行なっているため、総羽数の結果が出たら改めてお知らせしたい。



口の周りの剛毛羽

### ● 感想とまとめ

「標本を作るということは表現することで、貴方の考えが大きく現れます。標本の目的によって、作り方も変わってくるからです」という近藤さんにいただいた言葉は僕の背中を押した。

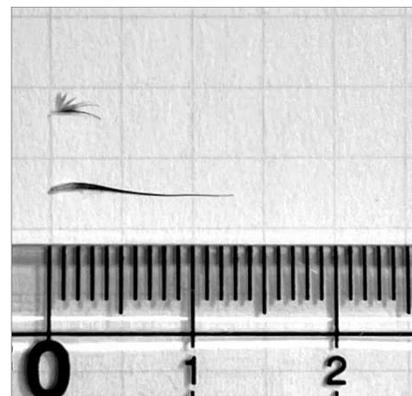
羽を抜いている途中、何度も気がとがめたり、モチベーションが下がりそうになったりした時があった。その時も「死んだ鳥の羽が捨てられることなく、自然への理解の入り口になるのは、すばらしいことだと思います」という近藤さんの言葉が僕を支えた。

このヒヨドリのおかげで、驚きや発見がたくさんあり、羽標本作りも羽のカウントも大変勉強になった。そして、貴重なご意見を頂けたことは、僕にとって大変意味のあることだった。

さらに骨格標本も作ることにした。その鳥の全てをデータにし、カッコいい形に生まれ変わらせ、たくさんの人に見てもらえたら、ヒヨドリの尽きた命も報われるのではないかなと思っている。

### <ヒヨドリのデータ>

体長	280mm
体重	75g
状態	極めて良好(肛門などに汚れもなし)
死因	車のガラスに衝突
性別	不明
採取日	2021/1/20
採取地	埼玉県東松山市
作成者	中西悠人



最も短い剛毛羽と最も長い剛毛羽

## ヒクイナ(緋水鶏)はなぜ「叩く」?

石川敏男(春日部市)

私の住む春日部市南東部では、地元の人の話ではヒクイナはたくさんいたという。

転居したころは、屋敷林のケヤキのてっぺんでカッコウが鳴いていたし、不動産の新聞折り込み広告に「カッコウが鳴く里」と書いてあったように記憶する。初夏の頃は夜になると、自宅上空をホトトギスが「キョッ、キョッ、時には「キョッ キョッ、キョッキョッキョッキョッ」と鳴きながら通過した。田んぼでは、タマシギの「ホーン、ホーン、ホーン・・・」の声も聞いた。

それから数十年、住宅などが増え、水田面積は減少し、屋敷林では高木が伐採され、景観は様変わりし、それらの鳥たちを見ることはなくなった。

しかし、最近うれしいことがあった。6月9日の夜に突然、ヒクイナが鳴く声が聞こえてきたのだ。15分ほどの短時間に3回鳴いてくれた。翌早朝もより近くで鳴いた。久しぶりに聞く「キョッ、キョッ、キョッ、キョッキョッキョッ・・・」。

昔からこの鳴き声を「“水鶏が戸を叩く”と、人々に親しまれていた」そうだ(真木広造監修『写真 野鳥図鑑』)。芭蕉にも「此宿は水鶏も知らぬ扉かな」の句がある。

「戸を叩く」と言っても、今では住宅の玄関はドアになり、チャイムを押すのが普通。余程のことがない限りドアを叩くことはしなくなった。かつては引き戸が普通だったし、チャイムなどないから、家の人を呼ぶのに戸を叩いたものだ。時代劇にも夜に人が訪ねて来た時には「トン、トン、トン、トントントン・・・」と叩くシーンが出てくる。この戸を叩く際の調子、テンポがヒクイナの鳴き声のそれと似ている。音色のことを表現しているわけではない。聞きなしの変形のようなものだろう。

なお、昔はヒクイナをクイナ(水鶏)と言った。私たちのように種別していない。今でも地元の農家の方はクイナと言っている。よくよく訊いてみると、「赤茶色の鳥だよ」という。

## オガサワラカワラヒワ

榎本秀和(鴻巣市)

どこにだっているさ、と思ったのが大間違い。カワラヒワは手ごわい相手だった。

はるばる海を渡り、小笠原諸島母島に到着して3日目。メグロや亜種ハシナガウグイス(ウグイスの基亜種)はすぐに見つけられたのに、亜種オガサワラカワラヒワ(亜種から種に分類を変更する動きもあると聞く)はなかなか姿を見せてくれない。

そんな時、地元のおじさんが「うちの畑に来れば、たくさん鳥が見られるよ」と親切に声をかけてくれた。

行ってみると、畑には水を満たしたバケツが置いてあって、それを水場としてメジロやカワラヒワが群がっているのではないか。派手に水浴びをするメジロ、水を飲みに来るだけのカワラヒワ。入れ替わり立ち替わり群れがやって来るのだ。かくして私は、思いがけない形で亜種オガサワラカワラヒワに出会うことができた。1997年3月、初めて母島を訪れた時のことである。

しかし、こんな体験はこの時だけ。その後も何回か母島を訪ねているが、カワラヒワを目撃するのは本当にむずかしくなった。

先日、『野鳥』誌2021年3・4月号の「オガサワラカワラヒワに迫る絶滅の危機」という記事を一読して、そうだったのか、と改めて事態を認識した次第である。

世界自然遺産登録の地で固有鳥類の絶滅が生じたとしたら、『野鳥』誌の記事にあるとおり、それは確かに「日本の恥」となる。

オガサワラカワラヒワ絶滅の回避に向け、できることがあれば私も協力したいと思う。



オガサワラカワラヒワ(2003年・海老原美夫)



## 野鳥情報

**蓮田市黒浜** ◇2月7日、太陽光降り注ぐ中、上沼近くの刈田で、淡い黄金色の中、キジが悠然と歩く。さまざまな金属光沢が美しい。近くの水路のカワセミの背も青く輝いている。国立病院機構東埼玉病院内の木陰でルリビタキ成鳥。こちらの青は少々暗めでくすんでいる（鈴木紀雄）。◇2月14日午前10時30分頃、木道を歩いているとクイナ1（下写真）。ヨシの陰に隠れるようにじっとしている。こちらにも動かずに待つ。10分後、動き出す。土の中に嘴を突っ込んで採餌、盛んに動き回る。11時35分、ヨシの奥に入って見えなくなる。その間この場所で、11時8分、オオタカが上空を追いかけ合うようにして西から東に通過。11時21分、ベニマシコが1、立木に飛来し、新芽を食べる。11時25分、アリスイの声、近くから聞こえたが姿は見つからず（藤原寛治）。



**蓮田市 西城沼公園周辺** ◇2月10日、ツグミが地面で採餌するようになった。ナラ林の林床でシロハラが落ち葉をひっくり返していた。昨年の若鳥が成鳥になって帰ってきたようだ。地面に落ちていたドングリをカケスがくわえていった。落ちていたドングリをくわえるカケスを見たのは初めてだ。2月15日、数羽のヒヨドリがブロッコリーに群がって、葉を食べていた（右写真）。2月24日、カルガモ29、キジバト5、カワウ1、ダイサギ1、コゲラ1、カケス2、ハシボソガラス7、ハシブトガラス3、ヤマガラ2、シジュウカラ10、ヒヨドリ12、エ

ナガ1、ムクドリ4、ツグミ6、ルリビタキ1、スズメ3、ハクセキレイ2など。庭木の枝にふわふわしたボールのような物が引っ掛かっていた？ よく見たらルリビタキ若鳥だった。樫の木にハシボソガラスが巣材を運び込んでいた。ムクドリが枯草を沢山くわえて飛んで行った。3月6日、シデの新芽をシジュウカラ2が啄み、林床でシロハラが落ち葉をひっくり返していた。小さな鳥が5～6羽、休耕畑から急に飛び立った。鳴き声や羽の黄色はカワラヒワと違った。マヒワだったのだろうか？ 3月11日午前6時45分、「ピーア、ピーア」に続いて「ココココ」。オヤツと思っていたら、「チョットコイツ、チョットコイツ」コジケイだった。まだ健在だった様子を嬉しい朝となった。3月18日、農家の前の竹藪からウグイスのグゼリが2度3度。まだ練習中のようだ。ヒヨドリがブロッコリーより美味そうにコブシの花びらを食べていた。樫の木でハシボソガラスが抱卵を始めた。しばらく楽しめるだろう。（長嶋宏之）。



### 所沢市上山口 堀口天満天神社周辺里山保全地域

◇2月11日、リュウキュウサンショウクイ2。エナガの群れに混じって行動していることが多かった（小林 茂・ますみ）。

### さいたま市の鴨川（島根橋～堀の内橋間）

◇2月12日、根切橋の袂でカシラダカ4。2月13日、植田谷堰～上流の学校橋でイソシギ1、クサシギ1、イカルチドリ1、ハクセキレイ、モズなど。クサシギは堰付近の浅い所を歩いて採餌。2月21日、鴨川上空をセグロカモメ1が往復。他にカルガモ44十、コガモ23十、オオバン33十、マガモ4、オカヨシガモ3、ヒドリガモ1、タシギ2、セグロセキレイ、ハクセキレイ、キセキレ

イなど。モズ♂1擬声。藪の中で別のモズが小声で「キィキィキィ」と鳴く。3月9日、カルガモ18+、コガモ27+、オカヨシガモ2、ヒドリガモ11、オオバン35+、バン2、カイツブリ4、カワセミ4、イソシギ2、ダイサギ、ハクセキレイ、キセキレイ、キジバト、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、アオジ、シジュウカラ、ウグイス、コゲラ、シメ1、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス。3月23日、カルガモ60+、マガモ♂1、カルガモとマガモの交雑種1、コガモ48+、オカヨシガモのペア、ヒドリガモ2、オオバン、バン、カワセミ、ツバメ、ツグミ、アオジ、カワラヒワ、チョウゲンボウなど。藤橋近くの日向の水際でクイナ1が羽繕い。その上方の木にジョウビタキ♀1。上流学校橋上空でヒバリ1が囀り、遠方でウグイスも囀る。カルガモの一部とコガモは求愛行動。茂みの中でモズが「キィキィ」鳴く(大塚純子)。

**さいたま市緑区上野田** ◇2月12日夕刻、道路脇の水路でタマシギ1、タシギ6、ケリ1、コサギ1、アオサギ1。2月16日、小さい水路でタマシギ♂1、タシギ4。2月26日、小さい水路でタマシギ♂1、タシギなど。ノスリ1。3月17日、ヨシ原から「クィクィクィ…」のしり上がりのアリスイの声(鈴木紀雄)。

**さいたま市見沼区藤子** ◇2月12日、ここでは今季初のタゲリ1が飛ぶ。ノスリ越冬中。2月25日、草原にコジュリン♀1、下面無斑、淡パフ色、嘴にピンク色味あり、目周囲三角形暗色、眉斑はつきり。3月4日、ノスリ(白っぽい個体)、越冬中。タゲリ2。3月12日、ノスリ1、ホオアカ2。3月18日、ノスリ1、ホオアカ、2ヶ所で2羽ずつ計4羽。シメ1、ホオジロ、ヒバリの囀り。キジ♂3目立つ、ホロ打ち。3月19日、遠方よりウグイスの囀り。3月24日、ノスリ1、ホオアカ1。「ギョギョシ」の声にオオヨシキリか?と思ったらモズ!!(鈴木紀雄)。

**伊奈町小室 埼玉県立ガンセンター～上尾市原市 県立鷹の台高校付近** ◇2月13日、ハ

シブトガラス、ハシボソガラス、ムクドリ、ヒヨドリ、スズメ、メジロ、エナガ、カワラヒワ、オオタカ、ホオジロ、オナガ、キジバト、キジ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カケス6、ドバト21、ツグミ、ジョウビタキ、アオジ、シメ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、シジュウカラ、ウグイス、モズ、コゲラ、オオバン、バン、カルガモ、カイツブリ。ヨシ原が一部を除き刈られていた(村越百合子)。

**さいたま市西区秋葉の森総合公園(53397425)**

◇2月14日、カルガモ、キジバト、コサギ、ヒクイナ、ハイタカ、ノスリ、カワセミ、アカゲラ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、イカル、アオジ。エナガは、巣材を集めていた。2月26日、カルガモ、カイツブリ、キジバト、ダイサギ、コサギ、オオタカ、コゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アトリ、マヒワ、シメなど(嶋田富夫)。

**さいたま市岩槻区横根** ◇2月17日、耕作地で何かを喰らうハヤブサ1(鈴木紀雄)。

**上尾市平方領領家** ◇2月19日、ヒバリ15、タヒバリ2、イソシギ3、スズメ73、ヒヨドリ58、アオジ3、カワラヒワ13、キジ2、ハクセキレイ7、オナガ19、ムクドリ42、上空でアオサギ3、ウグイス、メジロ、シジュウカラ、ツミ、キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス(村越百合子)。

**所沢市 上山中学校周辺** ◇2月19日～23日、ヒレンジャク4～10が住宅街のピラカンサの実を、ヒヨドリに邪魔されながらも隙について採餌していた(小林 茂・ますみ)。

**加須市 加須はなさき公園** ◇2月20日、青毛掘川の土手で4羽のアオサギが固まって日向ぼっこ。キジ♀が足元から飛び立ち、

驚いた。他にヒドリガモ50±、カルガモ12、コガモ♂2♀3、カイツブリ、カワウ、オオバン、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ♂1♀1、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、オオオジュリン（長嶋宏之）。

**吉見町 吉見総合運動公園** ◇2月22日、ノスリ4、チョウゲンボウ1、トビ4の猛禽3種を楽しめた。ヒバリがあちこちで囀り、カワラヒワ22とツグミ21が三々五々地面で採餌していた。他にキジバト、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、オオジュリン、コジュケイ（長嶋宏之）。

**さいたま市桜区上大久保** ◇2月23日、作田調節池でコガモ♂5♀3が求愛行動。ムクドリ20、ヒヨドリ1、ハクセキレイ1。池に続く遊歩道でジョウビタキ♂1、ウグイス1（大塚純子）。

**上尾市 丸山公園** ◇2月23日、カルガモ、マガモ、コガモ、トモエガモ、キジバト、コゲラ、アカゲラ、シジュウカラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、スズメ、ツグミ、アカハラ、ウグイス、エナガ、カワラヒワ、モズ、シメ、カケス、ジョウビタキ、ホオジロ、アオジ、コジュケイ、クイナ、ルリビタキ、ガビチョウ。「ケッ」しばらくして「ケッ」と区切って鳴く鳥、以前茅ヶ岳で見たオオアカゲラの声。探してみると姿を確認出来た（村越百合子）。

**狭山市柏原 智光山公園(53396361)** ◇2月24日、亜種ハチジョウツグミ（右上写真）、他にヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、キジバト、ダイサギ、コサギ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイなど（嶋田富夫）。



**さいたま市緑区 見沼自然公園** ◇2月25日、トモエガモ♂1、ヒドリガモ、オナガガモ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、オカヨシガモ、カイツブリ、アトリ12。3月26日、トモエガモは2日前に渡去したらしい。マヒワ20、上空を西へ（鈴木紀雄）。

**さいたま市緑区 寺山** ◇3月1日、ハイタカ♀、羽ばたきと滑空を交えて輪を描きながら高度を上げる（鈴木紀雄）。

**さいたま市中央区 与野公園** ◇3月3日、ケヤキの梢にメジロ10+が飛来し、虫を求めて木の上空を飛び回る。すり鉢山でウグイス1、シジュウカラ2+、コゲラ2、ツグミ3+、キジバト、ヒヨドリなど。弁天池でカルガモ4（大塚純子）。

**桶川市舎人新田** ◇3月4日午前10時40分、オオジュリン♂1。胸元の黒が印象的。ここの田んぼ沿いのヨシ原は夏季にヨシキリをよく見るところ（小貫正徳・とみ子）。

**さいたま市岩槻区 岩槻文化公園** ◇3月6日、元荒川でヒドリガモ80、オオバン30、コガモ5の群れ中にヨシガモ♂1。ハヤブサが何かをつかんで西へ飛翔。オナガ20がにぎやか。他にカルガモ、キジバト、カワウ、ダイサギ、イカルチドリ、カワセミ4（内2は番い?）、コゲラ、モズ番い、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、エナガ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、シロハラ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ（鈴木紀雄）。

#### 表紙の写真

#### ペリカン目サギ科コサギ属チュウサギ

動くコンバインを上手に避けて、サギたちはバッタとかカエルを捕えて食べる。いつもの秋の風景。 **徳名貴房（さいたま市）**



## 11月から12月に開催予定の探鳥会（全て事前予約制です）と、その他の行事のご案内です

### 【事前予約制探鳥会の開催要項】

1. 日本野鳥の会会員限定の先着順（ただし、埼玉会員優先）とする。
2. **申し込みは、当会のホームページから**とする（原則として開催日の4週間前から、ホームページで受け付けを開始）。**予約なしでの参加はご遠慮ください。**
3. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」（最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」から閲覧できます）に沿って実施する。
4. **必須条件**：マスクまたはフェイスシールドなどの飛沫防止策（ご用意のない方は参加をご遠慮ください）。
5. 筆記用具や観察用具（双眼鏡等）は、各自で用意する。
6. 万一、探鳥会開催後に参加者から新型コロナウイルス感染者が出た場合には、参加者名簿を保健所に提出する。
7. **新型コロナウイルスの感染拡大が続いている場合は、探鳥会を中止する事があります。最新情報をホームページで確認してから参加してください。**

### 羽生市・羽生水郷公園探鳥会・要予約

期日：11月4日（木）

集合：午前9時、羽生水郷公園水族館前休憩舎。

交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート（ムジナもん号）を利用、東武伊勢崎線羽生駅東口8:04発→南羽生駅8:21発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車、県道を渡り公園へ。

解散：正午前に集合地で。

募集人数：20名

担当：相原(修)、相原(友)、新井、植平、茂木

共催：羽生水郷公園管理事務所

見どころ：平日の静かな公園で渡ってきたばかりのカモ類、冬の小鳥たちや上空を舞う

猛禽を探しましょう。

注意：帰りのバスは14:50発です。

### 上尾市・丸山公園探鳥会・要予約

期日：11月6日（土）

集合：午前7時50分、丸山公園南口入口付近。

交通：JR 高崎線 上尾駅西口③番バス乗り場から尾32 西上尾第二団地経由リハビリセンター行7:26発で「丸山公園入口」下車、徒歩約4分。

解散：11時頃、集合地付近で。

募集人数：20名

担当：近藤、秋葉、浅見(健)、浅見(徹)、千葉見どころ：2年ぶり。早朝の公園で、冬鳥の到来を静かにじっくり観察しましょう。

注意：帰りは下車したバス停から11:50発。

### 春日部市・内牧公園探鳥会・要予約

期日：11月13日（土）

集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナス行き8:41発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。

解散：正午ころ、集合地で。

募集人数：20名

担当：石川(敏)、青山(美)、佐藤(宏)、佐野、橋口

見どころ：冬鳥との再会の季節。雑木林、蓮池、田んぼ、屋敷林などを巡りながら、小鳥中心に探鳥します。

帰りのバス：下車バス停の反対車線のバス停発13:07のみ。その後は14:47（8月現在の時刻表による）。

### さいたま市・大宮第二公園探鳥会・要予約

期日：11月14日（日）

集合：午前9時、大宮第二公園ギャラリー棟管理事務所前。

交通：東武野田線 大宮公園駅から徒歩約20

分。大宮第二公園駐車場が利用可能。  
解散：正午前に集合地で。  
募集人数：20名  
共催：大宮第二公園管理事務所  
担当：浅見(徹)、近藤、千葉  
見どころ：カモは来ているかな。大宮第二公園～芝川～大宮第三公園と巡ります。

### **さいたま市・見沼自然公園探鳥会・要予約**

期日：11月20日(土)  
集合：午前9時、見沼自然公園駐車場南側のベンチ付近。  
交通：JR大宮駅東口⑦番バス乗り場 8:23 発「さいたま東営業所」行きで「縮切橋」下車。バス停からご案内します。  
募集人数：20名  
担当：大井、浅見(健)、浅見(徹)、市原、小林(み)  
見どころ：昨今のバードウォッチングは、珍鳥が出ればたくさんの方が押しかけ「見た、撮った」の大騒ぎ。しかし、野鳥観察を中心にした自然全般に心を傾けられるナチュラルリストでありたいと望むならその地域の鳥たちをじっくり観察する時間を増やしてみませんか。コロナ禍だからこそ人生を豊かにしてくれる自然観察とは何かを再考する探鳥会にしたいと思います。

### **さいたま市・三室地区定例探鳥会・要予約**

期日：11月21日(日)  
集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館。  
交通：JR北浦和駅東口バスターミナルから 8:21 発 東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。  
解散：正午前に集合地で。  
募集人数：20名  
後援：さいたま市立浦和博物館  
担当：青木、浅見(徹)、小林(み)、須崎  
見どころ：冬鳥に会いたいな。芝川でカモ類、農耕地でホオジロ類を探します。猛禽も飛ぶかな。期待！

### **志木市・柳瀬川探鳥会・要予約**

期日：11月23日(火・祝)  
集合：午前9時、東武東上線 柳瀬川駅西口、

スーパーサミット前の円形広場。  
募集人数：20名  
担当：鈴木(秀)、神場、中村(祐)、藤澤、持丸、山口  
見どころ：柳瀬川の河岸を村山快哉堂まで主に水鳥を探します。富士見橋の上下流等の工事により、コース及び解散場所を変更する可能性があります。

### **加須市・渡良瀬遊水地探鳥会・要予約**

期日：11月27日(土)  
集合：午前8時15分、東武日光線 柳生駅前。または午前8時45分、中央エントランス駐車場。  
交通：東武線南栗橋行 新越谷 7:23→春日部 7:38→南栗橋 7:55 で東武日光線に乗り換え柳生 8:10 着。または JR 宇都宮線下り大宮 7:27→栗橋 7:55 で東武日光線に乗り換え柳生 8:10 着。  
解散：午後1時30分ころ、中央エントランス駐車場で。  
募集人数：20名  
担当：佐野、浅見(徹)、大井、小林(み)、近藤  
見どころ：渡良瀬にも冬鳥が揃っているころ。谷中湖を中の島の先まで歩き、カモや猛禽、そして冬の小鳥を探します。  
その他：防寒は万全に。

### **狭山市・入間川定例探鳥会・要予約**

期日：11月28日(日)  
集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。  
交通：西武新宿線 本川越 8:43 発、または所沢 8:41 発に乗車。  
解散：正午ころ、稲荷山公園で。  
募集人数：20名  
担当：長谷部、石光、佐藤(久)、島崎、中村(裕)、山口、山本(真)  
見どころ：1991年11月、定例探鳥会になってからちょうど30年。当時の記録を見ると参加者45名、鳥は34種とあります。今では見られなくなったハマシギも100羽以上とメモされていました。

### **所沢市・狭山湖探鳥会・要予約**

期日：12月4日(土)  
集合：午前9時30分、西武狭山線 西武球場

前駅前。

募集人数：20名

担当：石光、小林(ま)、佐藤(久)、持丸

見どころ：コロナ禍で2年の中断を余儀なくされましたが、狭山湖は健在！冬鳥たちがコロナをものともせず今冬もたくさん訪れてくれることを期待して、いつものコースを歩きます。

### **北本市・石戸宿定例探鳥会・要予約**

期日：12月5日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス 8:38 発で「自然観察公園前」下車。

解散：正午前に集合地で。

募集人数：20名

担当：吉原(俊)、相原(修)、秋葉、浅見(徹)、近藤、千葉、吉原(早)

見どころ：山野の鳥、水辺の鳥の両方が楽しめます。上空には、猛禽も現れてくれるか。

### **さいたま市・民家園周辺定例探鳥会・要予約**

期日：12月5日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園 駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

解散：正午ころ、浦和くらしの博物館民家園。

募集人数：20名

担当：須崎、伊藤、大井、手塚、

見どころ：芝川第一調節池のベストシーズンが到来。調節池なので環境は毎年変化しますが、カモ類・猛禽類を期待して観察します。予想外の鳥にも会えるかもしれません。ご注意：コースの途中にトイレはありません。

### **加須市・加須はなさき公園探鳥会・要予約**

期日：12月9日(木)

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線 花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

交通：東武伊勢崎線 春日部 8:16→久喜

8:29→花崎 8:36。または JR 宇都宮線 大宮

7:53→久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。

解散：正午ころ、現地で。

募集人数：15名

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、石川、植平、千葉、茂木

見どころ：青毛掘川～公園内を歩き、水辺の鳥や林の鳥など、身近な小鳥たちを探します。空に鷹が舞ったらラッキーです。

### **宮城県・伊豆沼、蕪栗沼、志津川探鳥会・要予約**

期日：12月11日(土)～12日(日)

集合：11日午前6時30分、東武線 岩槻駅東口。

解散：12日午後10時、集合場所の予定。ただし、高速道路の渋滞等の交通事情により変更有り。

交通：集合地から貸切バス(中型)を使用。

担当：入山、近藤、佐野、千葉

募集人数：23名(野鳥の会会員限定、埼玉会員優先)。最少催行人数16名。

申し込み：当会HPで10月1日から受け付けを開始します。

費用：40,000円の予定(往復の交通費・宿泊代・食事代・保険代等を含む)。

※過不足の場合は当日清算

※集合・解散場所までの交通費は各自負担  
見どころ：ガン類6種とオジロワシ・オオワシ。伊豆沼でのマガンの罅入りと蕪栗沼での朝の飛び立ち、志津川湾でのコクガンと海鳥。

その他：宿泊先はビジネスホテル『ルートイン登米』で、個室での宿泊です。夕食は鰻、昼食は海鮮丼を予定しています。参加者には後日詳しい案内を発送します。

### **東京都・浮間公園探鳥会・要予約**

期日：12月16日(木)

集合：午前10時、JR埼京線 浮間舟渡駅前。

解散：正午ころ、現地で。

募集人数：20名

担当：小林(み)、浅見(健)、石塚(敬)、今村、藤田

見どころ：駅前の公園に広がる池でカモ・ウオッチング。鳥との距離が近いビギナー・ファーストの探鳥地です。

**さいたま市・岩槻文化公園探鳥会・要予約**

期日：12月18日(土)

集合：午前9時10分、岩槻文化公園の国道16号側駐車場。

交通：東武アーバンパーク線 岩槻駅東口から朝日バス 8:43 発しらこぼと水上公園行で「村国入口」下車。バス停からご案内します。

解散：正午ころ、集合地で。

募集人数：20名

担当：長野、石川、鈴木(紀)、鈴木(庸)、長嶋

見どころ：トイレが完備された公園内や平坦な元荒川沿いの道を歩いて冬鳥を観察しましょう。

注意：岩槻駅での案内人の出迎えはありません。

**さいたま市・三室地区定例探鳥会・要予約**

期日：12月19日(日)

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館。

交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから 8:21 発 東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。

解散：正午前に集合地で。

募集人数：20名

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、浅見(徹)、須崎

見どころ：もう年末。コロナの年を三室での探鳥で締めませんか。非日常の続く中で、身近な野鳥を観察して日常を取り戻しましょう。

**幸手市・宇和田公園探鳥会・要予約**

期日：12月25日(土)

集合：午前9時20分、宇和田公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線 東武動物公園駅東口から境車庫行き 8:40 発のバスで「上宇和田」下車。北方向に徒歩5分。

解散：正午ころ集合地で。

募集人数：20名

担当：佐野、浅見(徹)、植平、小林(み)、佐

藤(宏)

見どころ：コロナ禍2年目、締めくくりの探鳥会。身近な冬鳥を探して公園周辺を歩きます。



オンライン会議システムを使った野鳥フォーラムを開催しています。スマホやパソコンを使ってリモートで参加できます。当ホームページから参加申込をしてください。今後の開催予定は以下のとおりですが、直前になってプログラムが変更になる場合もあります。詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.wbsj-saitama.org/onlineforum/>

**埼玉 Online 野鳥フォーラム 予定**

回	月/日	発表者	タイトル
—	9/19		お休み
31	9/26	長野	鳥を愉しむ座談会
32	10/ 3	菱沼	探鳥地紹介
33	10/10	浅見	江戸の鳥模様
—	10/17		お休み
34	10/24	相原	アラスカ・カナダ探鳥記
35	10/31	長嶋	カモの識別
36	11/ 7	石光	トリノトリビア-2
—	11/14		お休み
37	11/21	榎本	ナベコウはどこで観察？
38	11/28	小峯様	オーストラリアの自然と野鳥
39	12/ 5	山部	カラス集団罫の個体数調査
—	12/12		お休み
40	12/19	近藤	羽日記・付けたり-6
41	12/26		

注) 空欄は、未定(調整中)です。



7月3日(土) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 20(会員20)名 天気: 曇

キジ カルガモ キジバト カワウ アオサギ  
ホトトギス カッコウ コアジサシ トビ コゲ  
ラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ウグイス  
メジロ オオセッカ オオヨシキリ コヨシキリ  
セッカ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジ  
ロ (27種) コロナの状況がやや落ち着いて来たの  
で開催を決定。早朝の大雨も上がり、昨年11月以  
来の探鳥会を開始。暑い中、ホオジロは元気にさ  
えずってくれ、谷中湖ではコアジサシが飛んでく  
れた。ヨシ原へ着くとコヨシキリがヨシの先端で  
さえずっている。オオセッカのさえずりが飛翔も見  
られ大満足。小道を入るとさえずりが間近で聞こ  
える。ここは「録音」に最適なコースとのこと。  
この時季は熱中症対策での中止も考えられ、開催  
できたのはとても運がよかった。参加の皆様、リ  
ーダーの皆様、大変お疲れ様でした。(佐野和宏)

8月1日(日) 北本市 石戸宿

新型コロナウイルスの感染拡大で中止。(吉原俊雄)

9月11~12日(土~日) 新潟県・山本山高原~

銀山平

新型コロナウイルスの感染拡大で中止。(入山 博)

## iPhoneでメッシュを知る

調査部 森本國夫

2021年4月号で「国土地理院の電子地形図」を印刷して使う方法をご紹介しましたが、その電子地図(国土地理院では「地理院地図」と呼称)へのショートカットのアイコンをiPhoneのホーム画面に設定する手段がありました。

手順は、以下のとおりです。

- ① GPSを使えるよう「位置情報サービス」をON設定 > プライバシーをタップ

位置情報サービスをタップ

位置情報サービスをONにする

「地理院地図」を見るのに利用するブラウザ「Safari」に位置情報利用を許可する

② ブラウザ「Safari」を使って、「地理院地図」というキーワードで探す。地理院地図を利用したアプリなども表示されるので、国土地理院のウェブサイトをみつける。(URLに「maps.gsi.go.jp」という部分があれば間違いありません。)

③ 表示された地図画面下にある  をタップ

④ メニューの「ホーム画面に追加」をタップ

⑤ 開いた画面の上部右端にある「追加」をタップ

⑥ ホーム画面に「地理院地図」のアイコンができたのを確認(なければ②からやり直し)

⑦ ここから3次メッシュを表示する設定

⑧ ホーム画面の「地理院地図」のアイコンをタップして地図を表示

⑨ 画面右下の目玉に \ の入ったマーク(GPSマーク)をタップ

⑩ 「Webサイト「maps.gsi.go.jp」であなたの位置情報を利用しようとしています。」が出たら「許可」をタップ。出なければ手順⑪へ。

⑪ 地図に現在地が表示されていれば手順⑫へ。違っていれば手順①の設定を再度確認する。

⑫ 画面上部の  をタップ

⑬ 「設定」をタップ

⑭ 「中心十字線」と「次回終了状態を再現」をONにする

⑮ 「グリッド表示」をタップ

⑯ 「地域メッシュ」をONにする

これで地図に水色の線で3次メッシュの区切りが表示されるようになったはずですが。各区画にある水色の8桁の数字が3次メッシュのコード番号です。

画面左下の斜めの矢印をタップすると画面中央十のある位置の緯度・経度などが表示されます。

次回からは、ホーム画面の「地理院地図」アイコンをタップするとメッシュ地図が出ます。

なお、Androidスマホでは、Chromeで「地理院地図」を検索>地図表示>画面上部右端の  をタップ>「ホーム画面に追加」(または「アプリをインストール」)をタップ>「追加」(または「インストール」)をタップ>「自動的に追加」をタップ。ホーム画面にアイコンが設定され、上記の⑧以下と同様の操作で使えるようになります。



### ●全国密猟対策連絡会書面による総会

全国密猟対策連絡会(京都市)から昨年と同様、2021年5月総会資料として、案内文と、令和2年度事業報告、令和3年度事業計画案、令和2年度決算報告、令和3年度予算案、それぞれを承認するかしないかを尋ねる書面評決返信用葉書を同封したものが届きました。

代表と副代表2名でメール交換による協議をして、当会としていずれも承認すると返信用葉書に記載し、郵送しました。

### ●県カワウ協議会に出席

7月7日(水)9:55~11:36 県教育会館(さいたま市)で開催され、当会から小荷田行男幹事が参加しました。

その報告によると、要旨次の通り。

- ・狭山湖を県の調査対象地からはずす。(県)
- ・荒川折原橋下流のコロニー、巢立ち直前まで成長。(漁連)
- ・アユの放流。関東で荒川が一番獲れている。(漁連)
- ・放流ヘラブナがカワウに食べられている。(釣振興会)
- ・カワウ、森林公園山田大沼、公園内での罠、コロニーなし。アライグマ 2020 年度4頭、21年度今まで2頭捕獲(箱わなで)。(森林公園)
- ・今までの方法で見つけられない罠やコロニーがある可能性が大きい。(県、小荷田)
- ・カワウは河川下流部で生息するのが本来の姿。この状態に戻すのがやるべき方向。(小荷田)

### ●会員数は

9月1日現在1,450人です。

## 活動報告

7月12日(月)、『しらこぼと』7-8月合併号入稿。

7月16日(金)、7-8月合併号埼玉事務局発送分納品。

同日、7-8月合併号を『野鳥』誌と同封発送しない会員に向けて袋詰め作業後、浦和中郵便局から発送(海老原教子、海老原美夫、山部直喜)。

8月1日(日)~3日(火)、役員会メーリングリストによる役員会を開催。普及部の提出した【議案第1号】11月及び12月の探鳥会計画、【議案第2号】11月28日(日)浦和博物館主催「親子探鳥会」への講師派遣依頼について、【議案第3号】秋季「初心者向けバードウォッチング」について。本部普及室と連携、12月11日(土)午前は大宮公園で開催、の3議案を承認した。

## 編集後記

この編集後記を書いているのは8月の末です。新型コロナウイルスが感染爆発の様相を呈している真ただ中です。それでも希望を持って11月~12月の探鳥会の予定を準備して掲載しました。その頃には、ワクチンの接種が広がって、若い人たちの感染も減っていることでしょう。絶対に！  
(T. A.)

しらこぼと 2021年9・10月合併号(第448号)定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 [office@wbsj-saitama.org](mailto:office@wbsj-saitama.org)  
 編集部への原稿 [yamabezuku@wbsj-saitama.org](mailto:yamabezuku@wbsj-saitama.org) 編集部への野鳥情報 [toridayori@wbsj-saitama.org](mailto:toridayori@wbsj-saitama.org)  
 住所変更などの連絡は [gyomu@wbsj.org](mailto:gyomu@wbsj.org) または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635  
 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社